

全身性強皮症の診療指針・腎病変に関する研究

研究分担者	川口鎮司	東京女子医科大学膠原病リウマチ内科	臨床教授
研究協力者	田中住明	北里大学メディカルセンター内科	准教授
研究協力者	松枝 佑	北里大学医学部膠原病・感染内科	助教
研究協力者	高木香恵	東京女子医科大学東医療センター	講師
研究協力者	樋口智昭	東京女子医科大学膠原病リウマチ内科	講師
研究協力者	柄本明子	東京女子医科大学膠原病リウマチ内科	助教

研究要旨

2016 年に全身性強皮症診療ガイドラインを作成した。その後、新規の治療方法が開発されており、この研究班にて改訂を行う方針となった。我々は、腎病変に対する診療ガイドラインを検討し、新規の Clinical Question を作成した。

A. 研究目的

全身性強皮症(SSc)は、全身の線維化と血管障害を引き起こす原因不明の難病である。SSc に対する根本的な治療方法はいまだに開発されていない。また、臨床症状は、症例によってさまざまであり、間質性肺疾患を合併する症例、肺動脈性肺高血圧症や強皮症腎を合併する症例がある。そこで、現在の治療は、それぞれの臨床症状に合わせた対症療法が行われている。合併している臓器により治療方法が異なってくるのが現状の治療方法である。そこで、今回の臨床ガイドラインは、臓器別に治療指針を作成することとした。我々は、腎病変に関する Clinical Question (CQ)を作成することを本年度の研究目的とした。

B. 研究方法

2016 年に作成された診療ガイドラインの CQ を改訂して、6 名の SSc 診療の専門家による討議を行なった。この強皮症腎(SRC)の診断、治療の分野における新たな研究は少ないが、3 回の会議を行い、11 の CQ を作成した。

(倫理面への配慮)

特になし

C. 研究結果

表に示すような 11 の CQ を作成して、研究班の全ての分担者の同意を得ることができ、今後は、この CQ に関する systematic review を開始することとした。

D. 考察

現段階では、SRC あるいは、SSc に関連した腎障害に対する新規のエビデンスが存在するかどうかは不明であるが、systematic review による文献検索により、2016 年に作成した診療ガイドラインの改善を行えると考えている。それにより、重篤な合併症である SRC の診療が EBM に則った治療となっていくことが期待できる。

E. 結論

CQ の作成が完了したため、今後、systematic review を行い、新規のエビデンスの構築に移行していく。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 論文発表

1. Takagi K, Kawamoto M, Higuchi T, Tochimoto A, Hirose H, Harigai M, Kawaguchi Y. Characteristics of Japanese patients with systemic sclerosis complicated with calcinosis. **Int J Rheum Dis** in press
2. Kuwana M, Hasegawa M, Fukue R, Shirai Y, Ishikawa O, Endo H, Ogawa F, Goto D, Kawaguchi Y, Sato S, Ihn H, Takehara K. Initial predictors of skin thickness progression in patients with diffuse cutaneous systemic sclerosis: Results from a multicenter prospective cohort in Japan. **Mod Rheumatol** 31:386-393, 2021
3. Takagi K, Kawamoto M, Higuchi T, Tochimoto A,

Harigai M, Kawaguchi Y. Single nucleotide polymorphisms of the *HIF1A* gene are associated with susceptibility to pulmonary arterial hypertension in systemic sclerosis and contribute to SSc-PAH disease severity. **Int J Rheum Dis** 23:674-680, 2020

4. Utsunomiya A, Hasegawa M, Oyama N, Asano Y, Endo H, Fujimoto M, Goto D, Ishikawa O, Kawaguchi Y, Kuwana M, Ogawa F, Takahashi H, Tanaka S, Sato S, Takehara K, Ihn H. Clinical course of Japanese patients with early systemic sclerosis: a multicenter, prospective, observational study. **Mod Rheumatol** 31:162-170, 2021
5. Yamashita K, Kawasaki A, Matsushita T, Furukawa H, Kondo Y, Okiyama N, Nagaoka S, Shimada K, Sugii S, Katayama M, Hirohata S, Okamoto A, Chiba N, Suematsu E, Setoguchi K, Migita K, Sumida T, Tohma S, Hamaguchi Y, Hasegawa M, Sato S, Kawaguchi Y, Takehara K, Tsuchiya N. Association of functional (GA)_n microsatellite polymorphism in the *FLII* gene with susceptibility to human systemic sclerosis. **Rheumatology** 59:3553-3562, 2020

2. 学会発表

特になし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

H. 知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む)

1. 特許取得

特になし

2. 実用新案登録

特になし

3. その他

特になし